

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	03134-1	事業名	女性相談事業	部名	健康福祉部(子ども総合センター)
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			室名	子ども支援室
	基本施策	02:子育て支援			財 会 計	一般会計
	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり			務 款	民生費
	戦略プロジェクト				科 項	児童福祉費
				目 目	児童福祉総務費	

② 目的・概要	対象	要支援女性(DV被害者含む)				
	目的・概要	配偶者等からの暴力に対する被害者支援をはじめ、女性に関する相談を行うため、専任の相談員を配置して支援を行っている。また、相談員の賃金及び相談の質的向上のため相談員が研修等を受講する経費や情報収集のための三重県婦人相談員連絡協議会負担金が主なものである。				

				24年度	25年度	26年度
③ 指標	活動	① 補足	名称 相談	計画値		
			相談実人数	実績値	167	184
		単位		人	人	人
	② 補足	名称 相談	計画値			
		相談延件数	実績値	837	907	1,275
	単位			件	件	件
成果	① 補足	名称	計画値			
			実績値			
			単位			

年度計画				年度実績				
				女性相談員 臨時雇賃金 2,159,200円				
				女性相談はDV相談を中心に機関連携が必要なケースも多く、相談者の実人数に対する相談や対応の延件数は大幅に増加している。女性相談員の常勤体制により早期対応と相談者の福祉を図っている。				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,701	
		国庫支出金		2,296	2,232	一般職員人件費 ②	3,701	平均給与額×③
		県支出金		665	665	所要人員 ③	0.50	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源		1,631	1,567	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再 翌年度への繰越額		0				
		掲 前年度からの繰越額		0				
		総人件費		①	3,701			
		総コスト		⑥	5,933			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	DV相談に伴う医療連携や子どもを含む家族に関する相談が多数を占める。要保護児童等・DV対策地域協議会でのネットワークを活用した機関連携を図ることで、重篤な結果となることなく適切な対応を行うことができた。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	県外及び市外からの転入者からの相談が増加し、広域の対応も必要となっている。警察等地域での連携体制は年々強化されつつあるが、市や県をまたいだ支援の対策が必要である。	
	【改善の方向性】	平成26年度の対応で、県外機関との連携や具体的対応についてある程度のノウハウを得られたが、より有効な手立てを研究しつつ相談者の支援を行う。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 子ども支援室長 宇野 勉